

# 2022健康白書

(2021年4月～2022年9月)

*Aisan*

安全健康推進部 健康推進グループ

2022年10月

## 【愛三工業の健康経営】

当社は「持続的な成長を実現していく上で、社員や家族の心身の健康は重要な経営資源、企業活力の源泉である」との考えに基づき、2018年6月に「健康宣言」を制定しました。

担当役員を筆頭に会社・労働組合・健康保健組合が一体となって健康経営推進体制を整備し積極的な健康推進活動を実践しています。

愛三工業では健康経営の実践活動を「健康チャレンジ」と称し、積極的に活動を推進しています。

「従業員がイキイキと輝き、働きがいを感じながら活躍できる企業」  
「地域に貢献できる企業」を目指します。

2022.9.末日

安全健康統括執行役員

小澤謙二



# 【健康経営活動方針】



健康チャレンジ	ヘルスリテラシー	定例	イベント	重点
	健康ニュース (年6回~)	役員健康宣言 (年1回)	健康チャレンジ期間	禁煙サポート
	安健ニュース (年3回)	健康白書 (毎年更新)	講演会	メンタルヘルス
	メンタルヘルス ニュース (月1回)	特定保健指導	特定保健指導	女性の健康課題
	Eラーニング (年3回)	健康経営従業員 アンケート	健康アプリ Pep Upイベント	がん対策
				高齢者健康

**法令遵守** 定期健康診断・人間ドック、ストレスチェック等

# 【健康経営戦略マップ】

健康経営で解決  
したい経営課題

企業の持続的な成長

従業員がイキイキと輝き働きがいを感じ続けながら活躍できる企業

健康投資効果

健康投資

課題

アブセンティーズムの低減      プレゼンティーズムの低減      ワークエンゲージメントの向上

「睡眠により十分な休息が取れている」従業員割合の向上      メンタル不全発症者数の低減      人間ドック受診率の向上      従業員の運動習慣者率の向上      従業員の体力の向上      喫煙者比率の低下      女性の健康理解の向上

睡眠Eラーニング実施者の増加      快眠イベント参加率の増加      人間ドック申込者数の増加      PepUpウォーキングラリー使用者数の増加      体力測定イベント参加率の増加      禁煙イベント参加者の増加      男性管理職の参加者の増加

睡眠Eラーニングの実施      快眠チャレンジイベントの実施      人間ドック無料化・休暇新設      PepUpウォーキングラリーの提供      体力測定イベントの実施      禁煙イベントの実施      女性の健康セミナーの実施

健診データ分析の実施      健康アプリPepUpの導入      健康経営理解度調査実施      健康チャレンジ期間の実施      女性の健康アンケート実施

ヘルスリテラシーの向上      運動習慣者率の向上      喫煙者のサポート      ワークエンゲージメントの向上

## TOPICS.1

### 健康経営優良法人2022「ホワイト500」に 4年連続認定

2022年3月

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人」の大規模法人部門において「ホワイト500」に4年連続で認定されました。

健康経営への関心の高まりとともに回答社数も年々増加し、認定レベルも上がっています。2021年度の申請件数（大規模法人部門）は昨年度から約300法人増えて、2869法人になりました。

ホワイト500では自社だけではなくグループ企業や取引先へ健康経営の考え方を普及することが求められています。

健康経営は、ESG投資のSocailスコア、特に人的資本への投資に直結すると金融機関・投資家から大変評価されています。



## TOPICS.2

### 第2回 健康経営従業員アンケートを実施

2022年5月

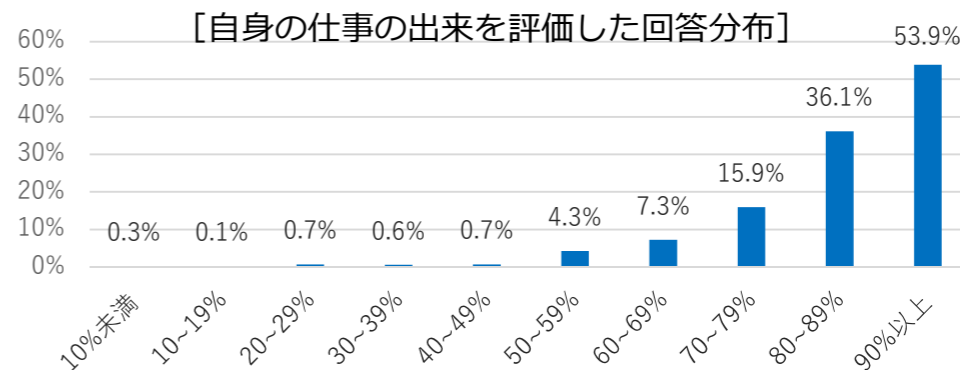
2021年5月に初めて実施した従業員の「健康経営理解度調査」を定例化し、本年も健康経営の理解度を調査すると共に、より良い健康経営の実現に向けて、健康推進活動に対する従業員の希望等の収集を行いました。

昨年の調査結果で希望の多かった「人間ドック無料化」や「睡眠に対する施策」「体力測定継続実施」などを実現させています。また、本年は従業員の「プレゼンティズム測定」の場としても活用しました。

#### ●プレゼンティズム(就労疾病)測定

病気やケガがないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自分の仕事を「0~100%」で評価した場合の平均値

16.8%



## TOPICS.3

### 病気の早期発見・治療を目的に

### 人間ドック費用を無料化・人間ドック休暇新設

2022年4月

病気の早期発見・治療を目的に2021年4月より、人間ドック対象者年齢を40歳から35歳に引き下げました。  
2022年4月からは、更なる人間ドックの受診率向上を目指して人間ドック制度や内容の見直し、休暇の新設を実施しました。

### <主な変更点>

#### ●愛三基本コース設定

- ・必要ながん検診を「基本コース」に設定  
→もれなく「がん検診」を受診できる仕組みを整えました。

#### ●人間ドック費用会社補助

- ・被保険者の「基本コース」費用は会社が費用負担  
→従業員は実質無料で受診できるようになりました。

#### ●人間ドック休暇新設

- ・積極的に人間ドックを受診できるよう休暇を新設しました。

### ～人間ドックの有用性を学び、がん検診に行こう～

2022年2月～3月

2022年4月に人間ドック制度を整える一方、従業員のヘルスリテラシーを向上し、従業員自らの意思で人間ドック・がん検診を受診できるよう、各がん検診の内容や目的、人間ドックの有用性を学べる朝礼資料等を2か月で8回発行しました。

また人間ドック予約期間内にしっかり予約完了できるよう、楽しみながら読んでもらえる「人間ドック啓発ポスター」を社内に掲示しました。



更に、人間ドックでがんを発見・早期治療をされ「治療と仕事」の両立をされている従業員の声を「がんサバイバーインタビュー」としてポータルサイトに掲載。「人間ドックへ行こう～申込編～」の特設HPを設け相互リンクし、受診率向上を目指しました。



### [2021年度人間ドック受診率]

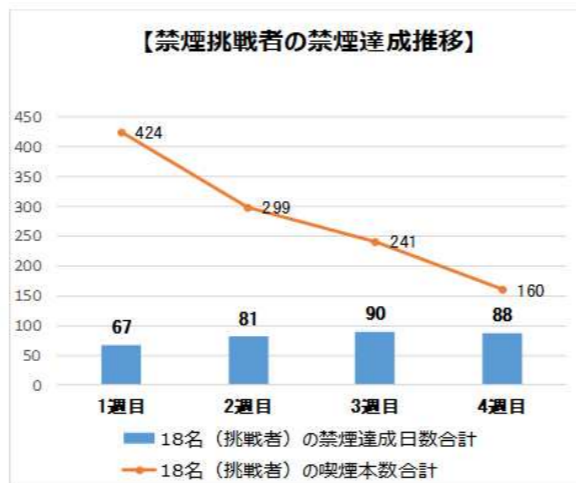
62.1% (35歳以上～)  
66.1% (40歳以上～)

# 健康チャレンジ

## 禁煙チャレンジイベントの実施

### 【第2回愛三ダービー 2021年7月～8月】

禁煙の成功は「本人の強い意志」と「周囲への宣言」により成功率が高まると言われています。第2回目の愛三ダービーも「禁煙挑戦者+サポーター」の1チーム制で各職場より参加、「チームで成功」を目指しました。また今回からは参加対象者を海外拠点・国内グループ会社に拡大。イベント終了時には、50%が禁煙を達成。イベントにより「皆で禁煙挑戦者を応援」の風土醸成をしました。



### 【熱血禁煙・減煙イベント 2022年7月～8月】

敷地内全面禁煙から1年半以上が経過。現在の喫煙者はいわゆる「岩盤層」の為、いきなり禁煙を目指さず減煙も選択できる「コース選択制」のイベントを開催。

期間中は、会社や家庭で「禁煙・減煙中」であることが分かるチェックシートも兼ねた「禁煙・減煙カレンダー」を使用し、周囲や担当保健師等からの熱血応援を受けながら、禁煙・減煙チャレンジしました。

- 週毎の平均目標達成率 禁煙コース：80% 減煙コース：76%
- 最終週の目標達成率 禁煙コース：96% 減煙コース：84%

## 健康eラーニング

### 2021年4月～2022年8月

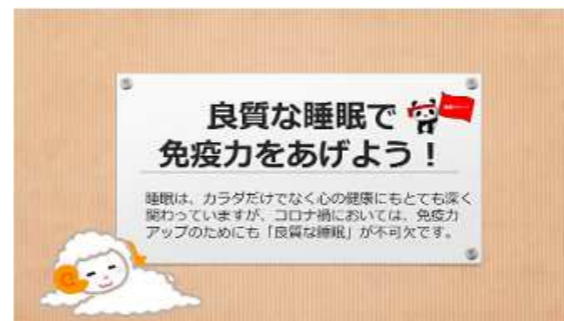
従業員のヘルスリテラシー向上の為、年に3回「健康eラーニング」を作成し実施。参考となる資料・確認チェックテストを1セットし、イベント等の時期に合わせてテーマを選択、展開しています。何度でも繰り返し学習できるよう社内HPに「eラーニングページ」を設け、過去に実施したeラーニングも継続掲載しています。

- 2021年 9月 がんの切り札はがんを知ること
- 2021年 11月 良質な睡眠で免疫力をあげよう
- 2022年 4月 意外と知らない肥満対策
- 2022年 8月 全身に影響する歯と口の健康

【実施人数】

1946人  
2088人  
1816人  
2041人

(2022年9月末時点)



# 健康チャレンジ

## 女性の健康課題セミナーの実施

2021年9月

「女性のヘルスリテラシー向上」と「職場における女性の健康課題理解」を目的にオンラインライブセミナーを実施。カリスマ産婦人科医としてご活躍中の宋美玄先生にご講話を頂き、当日は在宅での個別視聴や三密を回避した職場での分散視聴を実施しました。

女性従業員・ライン長を中心に、後日のアーカイブ視聴も含め520人が視聴しています。

「もっと詳しく聴きたい」「シリーズ化を希望」のアンケート結果に応え、2022年10月には第二弾のご講演を頂く予定です。



## 健康チャレンジ期間（体力測定&体力改善チャレンジ）

2021年10月1日～11月30日

2021年度の健康チャレンジ期間は、`向き合おうところとカラダの健康管理`をテーマに第2回目となる「体力測定」を実施。各事業所に体力測定エリアを設置し、在宅勤務でも測定が可能な内容を採用しました。

体力測定後は、各個人が「体力改善目標」を3つ以上設定し「20日以上」の継続を目標とした「体力改善チャレンジ」を実施し各々のウィークポイントの改善に努めました。

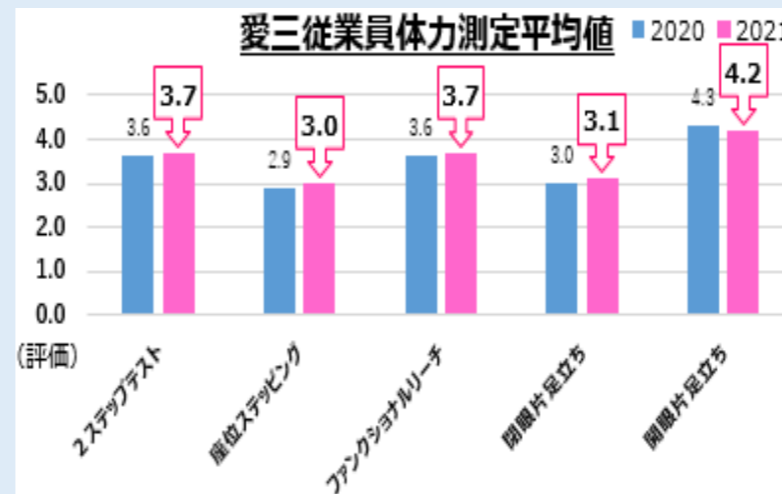
【目的】自身の今の身体能力を知り、転倒しないカラダを作る

【背景】転倒災害の頻発、高齢化やコロナ禍の運動不足・筋力低下を懸念

【効果】自身のウィークポイントを知り、体力改善することができる

【評価】敏捷性（座位ステッピング）と静的バランス（閉眼片足立ち）の評価が昨年同様に低い。年齢別に評価を比較した場合、どの項目も年齢を重ねる毎に確実に評価が下がっている。過信せず正しい自己身体機能認識を持ち、体力維持に努めることが大切。

●体力測定 参加者数：2261人 ●体力改善チャレンジ達成者：1969名



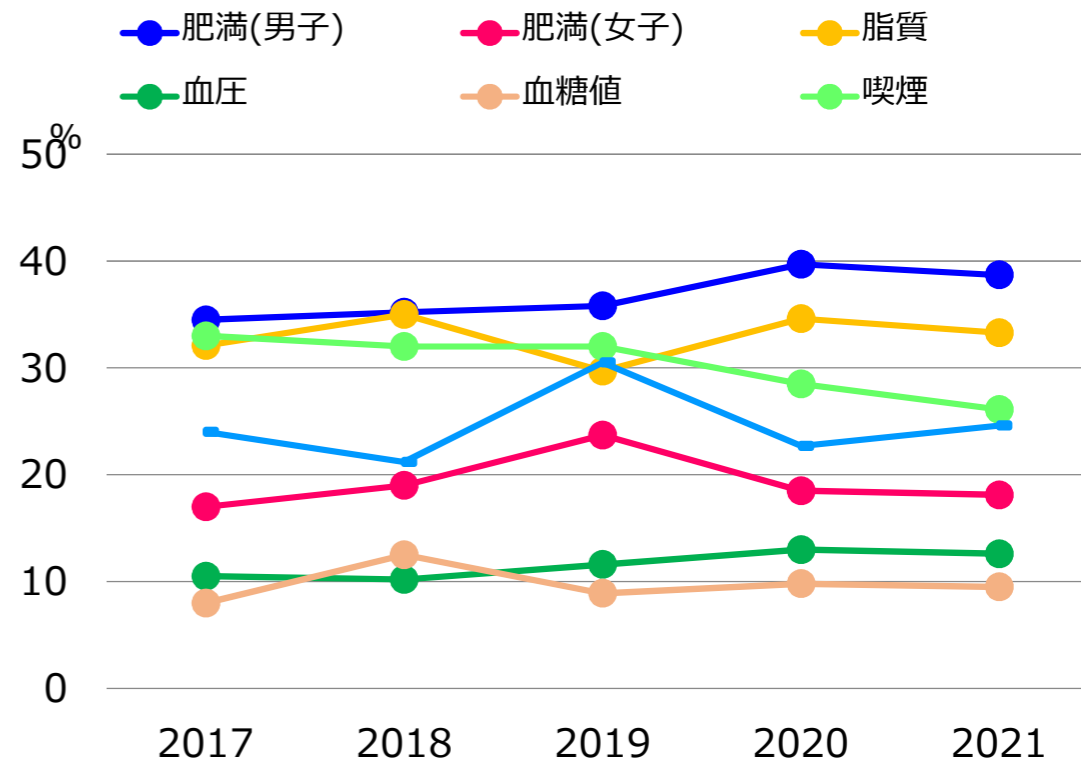
# 健康管理指標 (2017~2021年度実績)

対象：愛三工業従業員

		2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績
肥満者率	男子	34.5%	35.2%	35.8%	39.7%	38.7%
	女子	17.0%	19.0%	23.7%	18.5%	18.1%
脂質リスク者率		32.1%	35.0%	29.7%	34.6%	33.3%
血圧リスク者率		10.5%	10.2%	11.6%	13.0%	12.6%
血糖値リスク者率		8.0%	12.5%	8.9%	9.8%	9.5%
喫煙率		33.0%	32.0%	32.0%	28.5%	26.1%
運動習慣者率		24.0%	21.2%	30.5%	22.7%	24.6%

- ◆肥満：BMI25以上または腹囲基準：男子85cm以上・女子90cm以上
- ◆脂質リスク：HDL39mg/dl以下、LDL140mg/dl以上、TG150mg/dl以上のいずれか
- ◆血圧リスク：収縮期140mmHg以上または拡張期90mmHg以上
- ◆血糖値リスク：HbA1c6.3または空腹時血糖：110 mg/dl以上

2018年度より、腹囲測定対象者を35才以上から32才以上に拡大／血糖値検査に空腹時血糖値を追加



## ・2020年コロナ禍の影響が考えられた肥満者率（男性）・脂質リスク者率の増加および運動習慣者率低下、2021年は僅かに数値改善

⇒ 健康サポートアプリを使用したウォーキングラリーの実施、体力測定実施による自己身体機能認識と体力改善チャレンジなどの運動習慣支援イベントなどを実施。僅かだが、数値改善に繋がった。

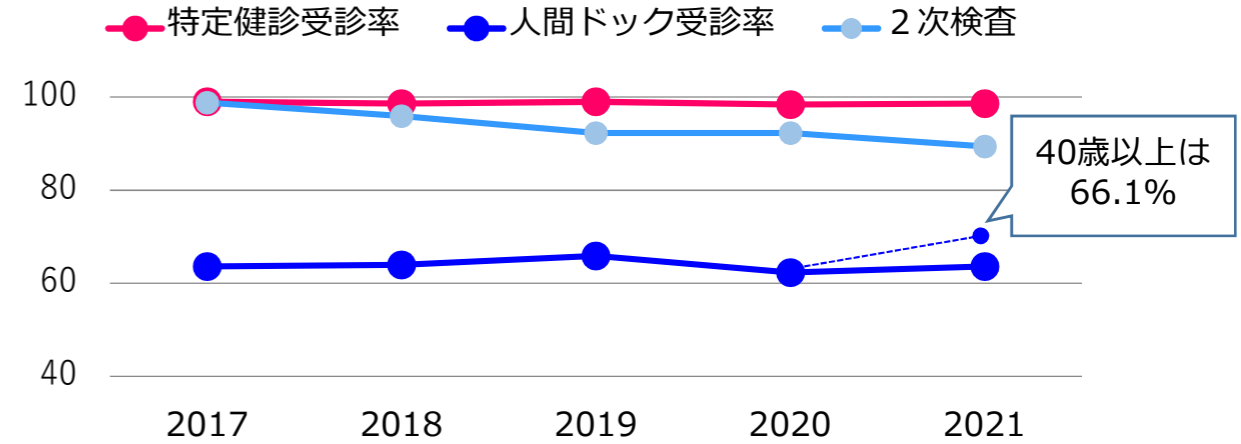
## ・敷地内全面禁煙（2020年10月～）実施後、順調に喫煙率が低減

⇒2008年は約2人に1人が喫煙者（47.9%）だったが、2021年は約4人に1人と変化。今後も減煙・禁煙・卒煙をサポートするイベントを継続して実施予定。

# 健康管理指標『健康診断・特定保健指導』（2017～2021年度実績）

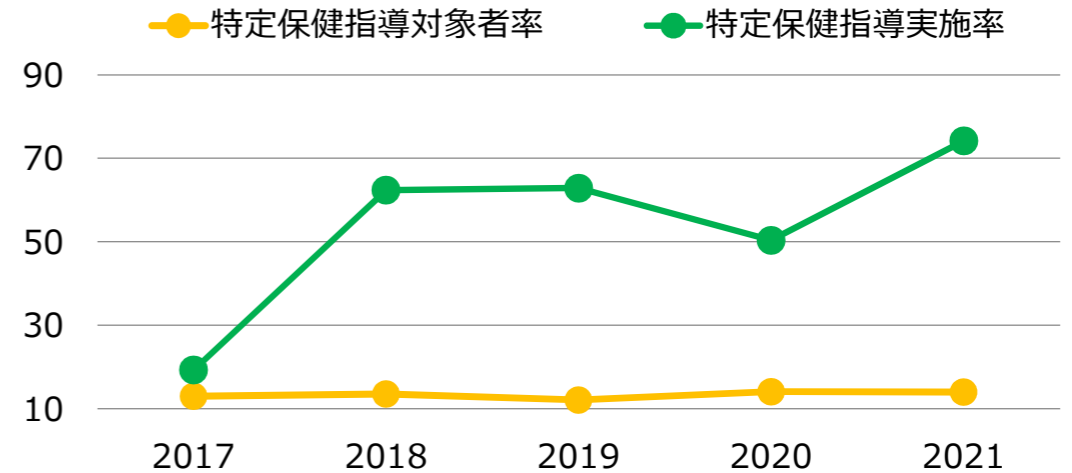
対象：愛三工業従業員

	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績
特定健診受診率	99.0%	98.6%	99.0%	98.4%	98.2%
人間ドック受診率	63.6%	64.0%	65.9%	62.3%	62.1%
人間ドック受診対象者	← 40歳～				35歳～
精密検査受診率 (2次検査)	98.8%	95.9%	92.3%	92.3%	89.4%



対象：愛三工業健康保険組合加入者

	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績
特定保健指導 対象者率	13.0%	13.5%	12.1%	14.1%	14.0%
特定保健指導 実施率	19.3%	62.4%	62.9%	50.4%	74.2%



## ・病気の早期発見・治療ができるよう人間ドック受診対象者を拡大

⇒2021年度より対象者を拡大（40歳以上→35歳以上）。40歳以上の受診率で比較すると66.1%と前年より4%アップした。2022年度からは人間ドックを無料で受診できる会社費用負担化、人間ドック休暇を新設、がん検診をもれなく受診可能な愛三基本コースを設定した。

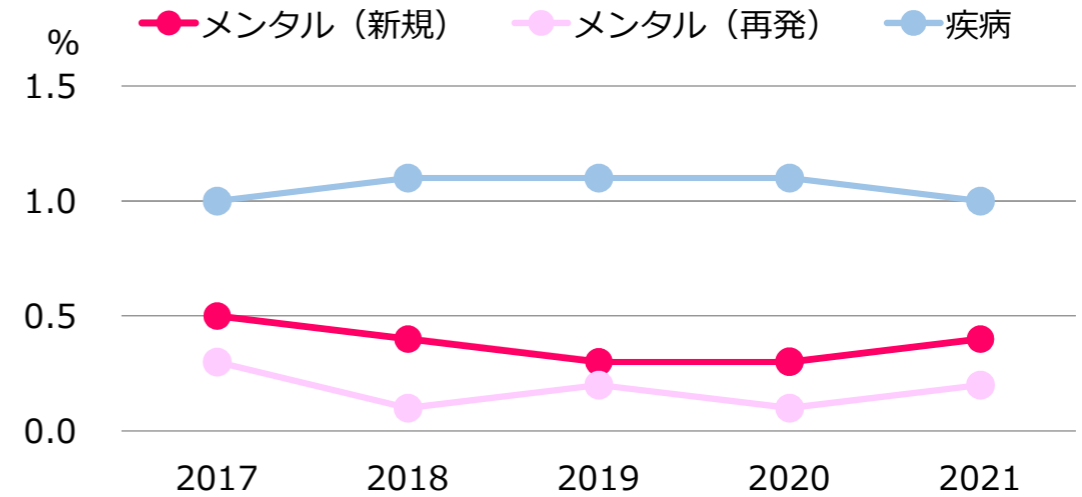
## ・特定保健指導実施率が大幅に上昇

⇒2018年度より健康保険組合とコラボヘルスで社内での特定保健指導を開始し強化。人間ドック先での受診も促し実施率が大幅にアップ。

# 健康管理指標『休職者率・ストレスチェック』（2017～2021年度実績）

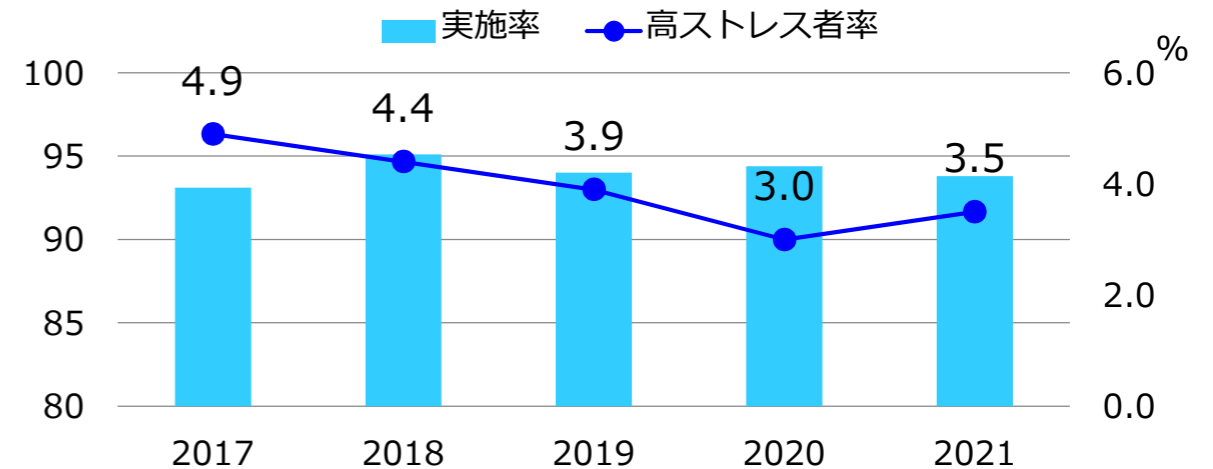
対象：愛三工業従業員

	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績
休職者率 メンタル（新規）	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%
休職者率 メンタル（再発）	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%
休職者率疾病	1.0%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%



対象：愛三工業従業員

	2017 実績	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績
ストレスチェック 実施率	93.1%	95.1%	94.0%	94.4%	93.8%
高ストレス者率	4.9%	4.4%	3.9%	3.0%	3.5%



- ・ **ストレスチェック実施率は毎年90%以上を維持しているがメンタル不全を起因とする休職者が微増**  
⇒社内でのメンタルヘルスの重要性の認識が高まっている一方、より一層充実したセルフケア・ラインケアの教育実施が必要。

# 健康管理指標『睡眠・残業・年休』と従業員の『定着率』（2017～2021年度実績）

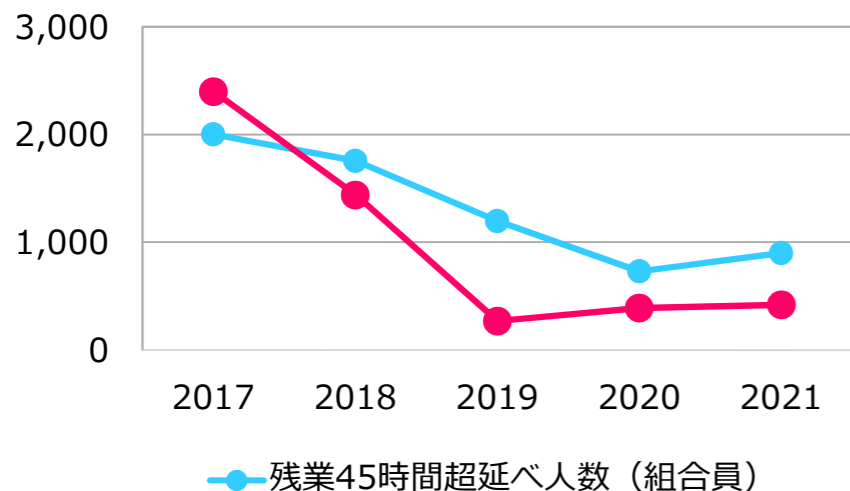
対象：愛三工業従業員

※健康診断問診票より

	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績
「睡眠により十分な休養がとれている人」の割合	70.1%	72.6%	79.4%	76.9%	74.2%

対象：愛三工業従業員

	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績
残業80時間超延べ人数（管理職）	80人	48人	9人	13人	14人
残業45時間超延べ人数（組合員）	2,002人	1,757人	1,198人	730人	901人
平均年次有給休暇取得率	80.6%	84.5%	85.1%	75%	88.0%
平均年次有給休暇取得日数	15.8日	16日	16.5日	15.7日	17.3日
正社員の平均勤続年数（定着率）	19.1年	19.2年	19.3年	19.4年	19.5年



- ・「睡眠により十分な休息が取れている人」の割合は常に70%台を維持する一方、従業員アンケートでは「良質な睡眠対策」を知りたい要望が高く、2年連続で1位  
⇒睡眠講演会、Eラーニングなどを実施してきたが2022年10月の健康チャレンジ期間では「快眠チャレンジ」を実施予定。
- ・残業時間は5年間で大幅に減少、有休取得日数も平均16日以上を維持  
⇒引き続き、ワークライフバランスの取れる職場環境を維持。

## 【まとめ】

正社員の平均勤続年数は順調に延びており、離職人数も2017年（90人）から2021年（50人）と減少傾向にある。「イキイキと輝き働きがいを感じ続けられる企業」を目指す健康経営の取組み効果があったと推察できる。